

腎臓内科研修

◇ 研修目標および特徴

検尿異常から腎不全に至るまで、急性慢性腎疾患の診断と治療につき、血液浄化療法を含めその概略を習得する。

将来すすむ専門領域に関わらず、医師として必須の水電解質酸塩基平衡異常の病態把握と管理について研修する。

◇ 研修内容（方略）

腎生検の適応と実際の手技、腎生検所見の見方と腎炎の診断、腎炎の薬物治療と生活指導、腎不全の診断と治療、血液透析の適応と管理、腹膜透析の適応と管理、慢性透析患者の合併症の治療、各種血液浄化療法の適応と実際の手技、輸液の製剤選択と実践

◇ 指導責任者

長門谷克之

◇ 週間スケジュール

曜日	AM	PM
月	腎臓関連書籍輪読、透析、病棟	腎内回診
火	腎生検、シャント手術	シャント手術
水	透析、病棟	腎内抄読会①、 腎生検検討会
木	透析、病棟	
金	透析、病棟	CAPD 外来、 透析ミーティング 腎内抄読会②

◇ 評価方法

- (1) 各研修医は研修到達度の自己評価を PG-EPOC に入力する。
- (2) 研修指導医は研修期間終了時に、研修医の研修到達度を評価する